



井上 佳郎 議員

高島市の地域公共交通の取り組みについて

問

地域公共交通の利便増進について、今後どのように取り組むのか

答

キャッシュレス決済システムの導入や、スクールバスと地域公共交通路線の統合等について取り組みを進めてまいります

問

JR近江今津駅と安曇川駅間について、その二つのネットワークの間の補完を今後検討することは可能か。

答

都市整備部長 基本的には鉄道での移動が第1であると考えます。バス等でのネットワーク形成については、今津地域と安曇川地域で運行するバス事業者が異なるなど課題もありますが、ニーズや利便性ということも踏まえ研究していきたいと考えます。

問

利便増進計画におけるライドシェア・デマンドタクシーの取り組みについて具体的な計画は検討しているか。

答

都市整備部長 デマンドタクシーの取り組みにおいては、利用者の利便性やタクシー事業者の供給体制等を鑑み、区域運行型予約乗合タクシーへの移行の検討を進めたいと考えています。ライドシェアにつきましては調査結果や費用対効果等を踏まえ、実現の可能性などについて検討していきたいと考えています。

問

昨年10月にコミュニティバス路線の土日祝日をデマンドタクシーに変更したことによって、利用者数が増えているか。

答

都市整備部長 路線毎の利用人数は集計中ですが、全区域運行型予約乗合タクシーの利用者数は、約2倍強になつています。



問

無人自動運転バスへの取り組みについて、今後検討をするのか。

答

都市整備部長 無人自動運転バスは、全国では既に取り組みを始めています。自治体もありますが、先ずは現状の二次交通の維持を最優先とし、安全性や利便性等が確立し、社会実装化が進み、自動運転バス導入の機運が高まれば検討することとし、他の導入事例を参考に研究してまいります。

都市整備部長 新たな交通システムについては、地域交通検討調査業務の調査結果で得られた課題や費用対効果等を鑑み、次年度に検討してまいります。地域公共交通の利用増進については、キャッシュレス決済システムの導入や、スクールバスと地域公共交通路線の統合等について取り組みを進めてまいります。

